

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
  - 1) 利用者の「きてよかったね」につながる対応
    - ・丁寧かつ適切な対応に努め、利用者との信頼関係構築を目指す。
    - ・利用者支援を充実させるための、部署内および部署間の情報共有・連携の方法について引き続き協議し、よりよい形を目指す。
  - 2) 安心・安全の保障
    - ・府中市とともに防災・防犯体制の再構築について協議し、非常時の体制や役割分担の再確認、設置機器の取り扱いを含むマニュアルの再整備、防災・防犯訓練や研修の充実に取り組む。
    - ・感染症関連の情報収集に努め、利用者への啓発を図る。
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
  - 1) 利用者ニーズへの対応
    - ・各事業や行事実施時の利用者アンケートなど、利用者の声に耳を傾け、事業の評価、必要に応じた見直しを行う。
  - 2) 利用者支援事業の拡充
    - ・今年度より基本型の受託となる。地域の関係機関との連携を強化し、情報収集・発信の充実のための方法を検討し、実施を目指す。
  - 3) 高齢施設との連携
    - ・府中市内3拠点の法人高齢施設と2拠点の児童施設の連絡会を開催し、職員の相互理解を深めるための取り組みを実施する。
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
  - 1) 適切な組織体制の維持
    - ・リスク管理も念頭に置きながら、安定した事業運営ができるように職員体制整備に取り組むとともに、部署間での相互協力体制をとる。
  - 2) 継続して働ける環境づくり
    - ・業務の効率化への工夫に取り組むとともに、各職員の業務分担が適正であるかどうかを日常的に確認していく。
    - ・職員が心身ともに健康に勤務できるよう、職員がお互いに配慮し合える関係が維持できるようにする。
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
  - ・府中市からの委託料を有効活用できるよう、適切な財務管理を行う。
  - ・事業が安定して運営できるよう、現状と課題を明確にして府中市との協議に臨む。

施設の取組

1. 職員ひとりひとりが事業遂行におけるPDCAサイクルを意識できるように働きかける。
2. 法人の規程・規則や府中市の条例・要綱などの理解を深め、それに準じた事業遂行に努める。
3. 相談対応の場面などにおいて、それぞれの立場に応じた役割が果たせるよう、職員同士の意見交換や相互啓発を活発にし、スキルアップを目指す。
4. 防犯・防災体制の再構築・意識向上に取り組む。
5. 財務に関する大まかな流れなどを理解するための研修を実施し、部署内の予算管理などに意識をもって取り組む。